科目ナンバリング	U-LAS21 20006 SO48						
授業科目名 <英訳>	ドイツ語IIＢ D2167 Intermediate German B			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 松波　烈		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	金4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

文法の初級を一通り学習された方を対象に、中級、場合によっては上級の文法の理解へと進みます。

外語を学ぶうえで、会話や自己表現、実務目的などのさまざま学習観点があるなかで、特に「文法」という観点に即して授業をします。
主に運用を目的とした語学の本質は対人コミュニケーションであり、会話の公準や一般常識、日常的な感覚や標準的なルール枠組みの習得が肝要です。すなわち、客観的で形式が決まった体系に取り組みます。
一方「文法」の学習に際しては、そういった日常の常識を疑う感覚が求められます。
実は、文法の世界では「当たり前」は通用しません。
実は、文法には決まりはありません。本当に「1格→2格→3格→4格」なのでしょうか。実は「1格→4格→3格→2格」と並べたほうがシステマチックです（さっそく並べてみましょう）。その場合には、「主格→対格→与格→属格」という名称に改めるのがよいはずです。それでは、日本ドイツ語独自の呼称である1234格という表現は誤解を招く記法にすぎないのでしょうか。それだけのものなのでしょうか。実は実は、1234格呼称に大きな分があるかもしれません。
考えるしかありません。
あるいは動詞、例えば「過去」とは何でしょうか。未来を舞台にして書くときには「過去形」で書くでしょう。では「過去」「形」は過去を表しているのではないことになるのでしょうか。いや表しているのかもしれません。そうなのなら、動詞過去形で表している「過去」とはそもそも何なのでしょうか。何だったのでしょうか？
考えるしかありません。
文法というのは、どの項目もすべらかくこうです。一挙手一投足が、自分の思考力が試されます。ちっぽけであるがゆえに見過ごされてしまう冠詞、このようなもの1つとっても、そうです。なぜ天体と大統領と河川に定冠詞を付けないといけないのか。ところがなぜ「Sonne und Erde」なのか。なぜ「Ich trinke Wasser」のWasserは冠詞を付けないのか、そして代名詞に替えれないのか？
考えるしかありません。
考える力を養うこと、それも、「自分で」考える力を養うことが、文法を学び進める道です。そこでは、実は、「自」分の自力が試されるのであって、決まった「語順」を暗記するのでは、皆目ありません。

[到達目標]

中級以上のドイツ語文法を習得しながら、文法省察を通じて思考力を養うことを目標とします。
自分の母語としている言語でのふだんのものの言い方をそのまま外語にしても、ここでなら、日本語での普通の発言をドイツ語に直訳して話しても、自然な言い方にはならず、奇怪な発言になってしまいます。言語にはそれぞれ固有の癖や表現形式の好みといったものがあり、それを習得していないと、自然な言葉遣いはできません。それは、中級以上の文法の知識です。中級以上の、ドイツ語の核心となる文法を知ることで、自然なコミュニケーションを目指すことができるようになるでしょう。
また、初級を修了した時点でも、辞書を使って簡単な文章を読むことはできます。しかし、多少とも本格的な文章を読んだり、一定の形式の文章を書いたりするには、辞書を片手にというだけでは

ドイツ語IIＢ D2167(2)へ続く↓↓↓

限界があります。中級以上の文法に通じていないと、ドイツ語の文章のなかでうまく動くことができません。基礎的な文法、語形変化の表や活用の一覧などは、初級向けの教科書を開くなどしてある程度対策を立てることができますが、初級向けの参考書には、本物のドイツ語文章を理解するために必須となる事柄はあまり掲載されていません。そういった事柄は多岐にわたるものであり、文法の勉強は基礎で終わりということはありません。語学において多くの場合いわゆる単語の暗記こそ一生果てのない道のりだと思われがちですが、文法の習得にも特に終わりはありません。基礎だけで文法の学習を止めてしまえば、実力もそこまでで止まってしまいます。
本授業を通じて、のちにも継続的に文法を習得していく姿勢を身に付けるようにします。

[授業計画と内容]

この講義はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う。
各テーマを概ね3回前後で仕上げる予定である。参加者の理解度、文法授業の進み具合によっては、以下に挙げた進度に少々変更が生じることもある。

第1〜3週　冠詞と掲称 Artikel und Nullartikel
第4〜7週　副詞① Angaben, Praedikative, und Ergaenzungen
第8〜9週　副詞② Abtoenungspartikeln
第10〜11週　付加語の変化 Haupt- und Nebenmerkmaltraeger
第12〜14週　錯構と破格 Uebergleisung

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価については、おおむね学期末試験30%・平常点70%としますが、絶対的で固定的なものではなく、単純出席点以外に平常時の取り組み姿勢や課題提出など、なるべく様々な視点から評価するようにします。特に、学習上の意見や疑問点（意見のほうを重視します）などを発言される姿勢を評価します。漫然と聴講するよりも積極的に取り組まれてください。

[教科書]

使用しない
課題や授業資料をPandAにアップロードします。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、テーマに即した文献を一定範囲読むことを課題とします。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]